



住教育セミナー in 室蘭を終えて

稲場めぐみ (室蘭支部)

第60回 建築士会全国大会 京都大会に参加して

須藤志津子 (釧路支部)

今回の京都全国大会に関しては、2年前からは是非参加したいと、支部会員で計画を立てていました。最終的には男性2名、女性4名の総勢6名の参加となりました。

12月7日に釧路空港から乗り継ぎ伊丹空港、そしてリムジンバスで京都に到着しました。

その後、閉園間際の安藤忠雄設計の「京都府立陶板名画の庭」を見学、次に前川國男設計の「ロームシアター京都」の中の京都モダンテラスでお茶をし、最後に宿泊先の旅館で京懐石をいただき1日目を終了しました。

2日目はいよいよ全国大会です。会場の「みやこめっせ」に到着後会場内に展示されている伝統工芸品を見てから、それぞれの分科会に分かれて参加しました。

私は「女性委員会+福祉・防災まちづくり部会合同セッション」に参加しました。「テーマ：コミュニティ型仮設住宅を考える」の中の、復興についてのパネルディスカッションを、興味深く聞くことが出来ました。

避難所→仮設住宅→復興公営住宅に向けて、現状の問題点と対策について話し合われました。

仮設住宅生活の長期化、復興公営住宅のコミュニティ単位の移住の難しさ等があったことを伺えました。

今後又、震災が発生し仮設住宅における居住の長期化が予想され

た場合、国の制約を特例で外し、仮設住宅をそのまま復興公営住宅とし、木造で断熱性能が良く、家族で暮すことが出来る面積の建物とする事、又、コミュニティ単位で暮せるようにすることが重要だと感じました。



みやこめっせの前で

夕方からは皆で「京都迎賓館」を見学し、日本の伝統工芸の最高の技術を集結した建物・調度品を見る事ができました。

夜は辰野金吾設計「京都文化博物館」、安藤忠雄設計「タイムズ」を見学しました。

3日目はエクスカーションに参加しました。女性4名は「近世・近代の名建築を巡る旅」に参加し、一般非公開の清風荘、駒井邸、山紫水明処等を見学しました。

通常の観光では見る事の出来ない建物を、矢ヶ崎先生他の案内で見る事が出来るという貴重な体験をさせていただきました。



清風荘を見学

“建築士による住教育出張講座「私らしい住まい」の設計～はじめての一人暮らし～」の一環として10月18日、室蘭文化センターにて「建築士向けセミナー」が開催されました。

室蘭支部より男女3名の方が参加、講師として同じく室蘭の吉田さんと稲場が参加し、少人数のアットホームな雰囲気でのセミナーとなりました。建築士向けセミナーではありますが、高校での出張講座と同様の実習内容を体験していただきました。参加者の方々は職種も様々。普段の仕事では住宅に関わっていない方もいらっしゃいましたが、住宅のプランニングが久しぶりの方もそうではない方も、とっても真剣に、そして楽しんで取り組んでいて、実習終了後は皆さん存分にやりきった？ご様子でした。それぞれの作品を発表していただきましたが、さすが建築士！平面図を作成しながら、きっちり展開図も頭に描いており、高校生との違いを大いに実感させていただきました。そこでこのイキイキとした生活が見えてくる作品&発表は、大変勉強になりました。数年前、私もこのセミナーを受講したことがありましたが自分の発想の乏しさに愕然としたのを思い出してしまいました…

その後11月16日、室蘭市内では初となる住教育出張講座が室蘭工業高校建築科にて行われ、上記のセミナーに参加された3名の方々にとっては講師デビューの場となりました。終了後、「生徒達と接するのは楽しかった」との感想もあり、現建築士が未来の建築士と交流できる有意義な時間となったことを嬉しく思いました。室蘭開催を地元メンバーと共に無事終了できたことに、感謝です。